

二宮町下水道ストックマネジメント計画

二宮町都市部下水道課

策定 令和3年 2月

改定 令和4年1 2月

① スtockマネジメント実施の基本方針

限られた人員や予算の中で効果的に予防保全型の施設管理を行っていくため、各施設・設備の特性から、処理機能や予算への影響を考慮し、重要度が高い設備に対し、予防保全を実践していく。

本町における管路施設の管理区分を下記の表に示す。

【状態監視保全】

機能発揮上、重要な施設であり、調査により劣化状況の把握が可能である施設を対象とする。

【時間計画保全】

機能発揮上、重要な施設であるが、劣化状況の把握が困難である施設を対象とする。
一定の機能を有しない取付管も対象とする。

【事後保全】

機能上、影響が小さい等、重要度が低い施設を対象とする。

② 施設の管理区分の設定

1) 状態監視保全施設

【管路施設】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判断基準	備考
管渠 マンホール マンホール蓋	・直近3年で調査を行う。	緊急度Ⅲ以下（マンホール蓋は健全度3以下）で改築を実施	高リスク箇所（軌道横断管渠、緊急輸送路を縦・横断する管渠） 一般環境下
管渠 マンホール マンホール蓋	・10年に1度の頻度で点検を実施。 ・点検で異常が発見された場合、調査を実施。	緊急度Ⅲ以下（マンホール蓋は健全度3以下）で改築を実施	上記以外の施設 一般環境下
管渠 マンホール マンホール蓋	・5年に1回の頻度で点検を実施。 ・点検で異常が発見された場合、調査を実施。	緊急度Ⅲ以下（マンホール蓋は健全度3以下）で改築を実施	圧送管吐口の下流1スパン 腐食環境下

【処理場・ポンプ場施設】

本町には対象施設が存在しない。

2) 時間計画保全施設

【管路施設】

施設名称	目標耐用年数	備考
マンホールポンプ	町の改築実績による（20年） 〔標準耐用年数（15年）×延命化率〕	1年に1回の定期点検を行いながら、目標耐用年数（20年）を超える施設を改築対象とする。
圧送管	標準耐用年数（50年）	
取付管 （Zパイプ）	—	Zパイプは現基準に適合しない規格のため 全て対象

【処理場・ポンプ場施設】

本町には対象施設が存在しない。

3) 主要な施設の管理区分を事後保全とする場合の理由

【管路施設】

-

※まず、取付管（Zパイプは除く）は事後保全とする

【処理場・ポンプ場施設】

本町には対象施設が存在しない。

③ 改築実施計画

1) 計画期間

令和3年度 ～ 令和7年度

2) 個別施設の改築計画

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理区・排水区 の名称	合流・ 汚水・ 雨水の別	対象施設	布設 年度	供用 年数	対象延長 (m)	概算費用 (百万円)	備考
第13処理分区	汚水	二宮 No. 1MP	1999	22	-	6.1	
第13処理分区	汚水	二宮 No. 2MP	2002	19	-	10.7	
第13処理分区	汚水	二宮 No. 3MP	2002	19	-	9.8	
第13処理分区	汚水	二宮 No. 4MP	2002	19	-	9.3	
第13処理分区	汚水	二宮 No. 5MP	2003	18	-	6.9	
第13処理分区	汚水	汚水ます 及び取付管	1976	45	-	40	取付管 材質 Zパイプ 対象地区 富士見が丘 三丁目
合計						82.8	

※MP：マンホールポンプを示す。

④ スtockマネジメントの導入によるコスト縮減効果

概ねのコスト縮減額	試算の対象時期
約 1 億 40 百万円／年	概ね 100 年 (R3～R102)